

原水爆禁止世界大会実行委員会 様

今日までの永きにわたる貴実行委員会の核兵器廃絶平和運動への取組に対しまして、心より敬意を表します。

益田市におきましても、広島・長崎の惨劇を世界中のどの地においても、二度と繰り返してはならないという強い思いから、1988年に「非核・平和都市宣言」を行い、毎年多くの市民の皆様により、平和への取組がなされております。

被爆から70年を経過しても、なお世界中で多くの方々が苦しんでいる今日、改めて核兵器廃絶に向けた活動を発展させることが必要であると考えます。

先日行われた、安倍総理大臣とイラン最高指導者ハメネイ師との初会談では、イランが核兵器の製造や保有を目指す意図はないという考えが示され、世界中がその動向を注視しているところでもあります。

このことが、核兵器のない世界実現の一步であることを願いますとともに、原水爆禁止2019年世界大会が成功をおさめ、世界平和への大きな一步となりますことを御祈念申し上げます。

令和元年6月20日

島根県益田市長 山本 浩章

